

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第5学年 「図画工作（開隆堂）」

35時間（70%）

週	領域	題材名	題材の内容	時間数	留意点
1 ～ 3	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア 絵 【選択】	季節を感じて 4時間	季節から受けたイメージを絵に表す。	4 家庭	・作品の大きさや扱う用具を制限することで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
		わたしのおすすめ 4時間	地域のすてきなことやものを絵に描いて伝える。	4 家庭	
4	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア 立体	みんなでたのしく、「ハイ、ポーズ」 3時間	粘土の可塑性を生かして動き出しそうな人物を立体に表す。	3	
5 ～ 7	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア 絵 【選択】	形を集めて 4時間	同じ形の大きさや重なりを生かして絵に表す。	4	・作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。 ・作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。
		動きの不思議 4時間	人の動きをとらえて絵に表す。	4	
		進め！ ローラー大ぼうけん 4時間	ローラーの特徴を生かして表し方を工夫しながら、絵に表す。	4	
8 ～ 11	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア 工作 【選択】	糸のこの寄り道散歩 6時間	電動糸のこぎりで板を自由に切り、切った形を組み合わせてつくる。	6	・ニス塗りの工程を省くことで、時間削減できるようにする。 ・速乾性の接着剤を活用し、乾燥時間の短縮を図る。
		見つけて！ ワイヤードリーム 6時間	針金の特徴を生かして、立体に表す。	6	
		コロがるくんの旅 6時間	ビー玉が転がる面白いコースを考えてコースターをつくり、みんなで遊ぶ。	6	
12	A表現 (1)ア(2)ア B鑑賞 (1)ア 造形遊び	同じもの、たくさん 2時間	カップやフラフープなど同じものをたくさんつないだり組み合わせたりして活動する。	2	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
13	B鑑賞 (1)ア	比べてみよう 2時間	作品をよく見て比べ、形や色など感じたことを味わったり話し合ったりする。	2	
14 ～ 17	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア 絵 【選択】	あったらいい町、どんな町 6時間	あったらいいな、行ってみたいと思う町を想像して絵に表す。	6	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・彫り進み版画の構造や進め方が理解できるよう、段階を追った参考作品を提示する。
		色を重ねて広がる形 6時間	彫りと刷りを繰り返してできる彫り進み版画の技法で版に表す。	6	
18	A表現 (1)ア(2)ア B鑑賞 (1)ア 造形遊び	地球は大きなキャンバスだ 2時間	身近にある自然の材料や場所の特徴を生かして活動する。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。

19 ～ 21	A表現 (1)イ(2)イ B鑑賞 (1)ア	だんボールで、試して、つくって 立体 6時間	段ボールの特徴を生かし、切ったりはがしたり折り曲げたりして、立体に表す。	6 家庭	・作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
	Myキャラが動き出す 立体・工作	 工作 6時間	紙粘土でオリジナルキャラクターをつくり、友達と協力して簡単なアニメーションをつくったのしむ。	6 家庭	・デジタルカメラやタブレットPCなどのデジタル機器を活用する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
	B鑑賞 【選択】	そっと見てね、ひみつの景色 工作 6時間	箱の中にそれぞれの世界がのぞけるようにつくり、互いの作品のよさを味わう。	6 家庭	・速乾性の接着剤やホットボンドなどを活用し、乾燥時間の短縮を図る。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。

※時間数の精選方法（例）

○同じ領域の題材を選択して扱う。

・例えば、絵の題材として、「季節を感じて」「私のおすすめ」のいずれかを選択して実施する。 など

○加工に時間がかかる材料を扱うことを避けたり、作品の大きさを小さくしたりして、製作時間の短縮を図る。

○題材によっては、乾燥に時間がかからない、油性ペンや色鉛筆、クレヨンなどの用具を使用する。

○題材によって多様な表現技法を提示することで、児童が選択して製作に臨めるようにする。

○製作途中の相互鑑賞は、鑑賞の視点を明確にし、短時間で行うことが考えられる。

○振り返り（製作した作品の鑑賞等）の活動は、休み時間などを利用し、展示された作品を鑑賞するなどの工夫をすることが考えられる。友達の作品に対するコメントは、作品の名札に付箋紙を貼るなどの工夫をすることが考えられる。

○アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題として扱う。（提出されたアイデアスケッチや設計図などは、「表す」時間の前にチェックし、助言をワークシート等に記入して児童に返す。